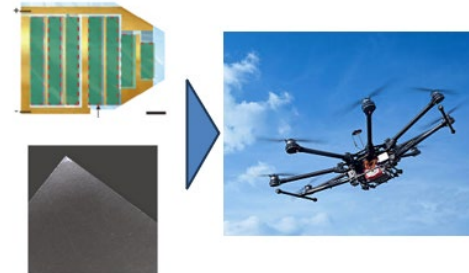


課題名

発電効率が高い超薄型有機太陽電池を用いたディスプレイブルソーラーシールの事業化検証

プロジェクトの概要

本プロジェクトは、ソーラーシール(発電効率が高く柔軟な超薄型有機太陽電池のシール)の生産販売の事業化検証である。当初はドローン業者(BtoB)を対象として実証実験、市場適用を行い、その後、BtoCへの拡大や将来的な海外展開を視野に入れる。並行して耐久性の改善を行う。



ビジネスモデル(申請時)

本事業における顧客は、「場所を問わず極軽量の電力補給方法を必要とする顧客」である。これらの顧客は、発電効率が高く軽量(超薄型)で、どんな場所であっても電力が補給できるという我々のプロダクトへの親和性が高い。

活動計画(申請時)

試作品の市販ドローンへの給電検証: 株式会社Skyerと連携し、試作品(ソーラーシール)をドローンに適用して試作機を製作し、顧客である複数のドローン事業者ニーズを満たすかのヒアリングを実施する。試作機で得られたソーラーシールの性能から、他製品に応用した場合の性能を検証する。



耐久性の改善: 研究開発面、ビジネス面の双方のアプローチを用いて、耐久性の改善を行う。すなわち、ビジネス面で優位性のあるガスバリアフィルムの探索を行い、実証実験する。